

# 平成19年 12月定例会

平成19年第5回定例会は、12月4日から21日までの会期18日間で開かれました。  
生涯学習プラザ条例の制定案や総額約33億2430万円の一般会計補正予算案など55議案が提出され、いずれも原案どおり可決しました。  
また、継続審査となった請願2件を除き、決議案1件と意見書案1件を可決したほか、人権擁護委員の候補者を推薦することについて同意しました。  
この定例会では、各会派の議員7人が議案や市政全般について質問をしました。

## 新春のごあいさつ



議長  
蔵本 久

皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

福山市議会では、昨年、政務調査費に係る領収書などの公開を始めるとともに、議員が本会議や委員会に出席した際に支給されていた費用弁償を廃止する

など、議会改革に積極的取り組み、12月定例会では、安心して安全に暮らすことのできる町づくりに関する決議をいたしました。

また、本年は、改選という大きな節目の年であり、市民の皆さまの市政への思いを改めて伺いする重要な年です。

福山市議会としては、市民の皆さまの思いを市政に反映すべく努めてまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご多幸を祈念いたしまして、ごあいさついたします。

平穏な市民の生活を脅かす事件が各地で相次いで発生し、衝撃と不安を与えています。こうした中、開会した12月定例会では、安心して安全に暮らすことのできる町づくりに向けての強い決意を示すため、次の決議案を全会一致で可決しました。

## 安心して安全に暮らすことのできる町づくりに関する決議(要旨)

犯罪のない「安心して安全に暮らすことのできる社会の実現」は、私たち福山市民すべての願いであり、また、市民一人ひとりが取り組むべき課題でもあります。

市民が安心して安全に暮らすためには、自らも「我が手で犯罪を抑止する」との意識を持ち、家庭、職場、さらには地域社会全体が一丸となって、犯罪を起こさない、手をかさない社会環境を整備しなければなりません。

福山市議会は、安心して安全に暮らすことのできる町づくりを目指して、市民と一体となり、地域での防犯活動や交通安全運動、児童の安全確保に全力を挙げて取り組んでいくものです。

なお、詳しい内容については、議会のホームページでご覧いただけます。

## 18年度一般会計・特別会計決算を認定

11月12日から16日までの5日間にわたり、一般・特別会計決算特別委員会が開かれ、18年度一般会計と13の特別会計の決算認定議案について、予算が効果的に執行されているかなどを、書類審査と質疑を行い審査しました。

12月定例会の初日に審査結果について委員長報告を行い、19年度以降の行財政運営に反映させるよう要望意見を付けて、賛成多数ですべての決算議案を認定しました。